

## TEAM JAPANとしての行動規範

1. オリンピズムの根本原則を理解し、行動すること。\*1
2. 日本代表選手団編成方針、および大会主催者、JOC、組織委員会が提示する規程やガイドライン、ルール等を遵守すること。\*2  
胸に日の丸をつけた公人であることを自覚し、すべてにおいて規律ある行動をとること。
3. 人間力の向上に努めること。  
アンチ・ドーピングの理念への理解を深め、インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を確保し、行動すること。\*3
4. フェアプレーの精神を重んじ、競技を通じて世界の人々に夢や感動、希望をもたらし、同世代の模範となるように努めること。
5. 世界各国・地域の選手団や、大会開催地の人々との友好と親善を心がけること。
6. オリンピック・ムーブメントの先導者として、その推進に貢献し、スポーツの価値を未来の子供たちに伝えていくこと。\*4

公人としてのあなたの行動は、すべての人々に、常にどこかで見られていることを忘れてはなりません。

※本行動規範の遵守は、団長以下、役員、監督、コーチ、選手を含む全ての選手団員に求められるものです。

\*1

- オリンピズムの根本原則を掲載(オリンピック憲章では、1 ページ目に記載あり)
- JOC の使命  
全ての人々にスポーツへの参加を促し、健全な精神と肉体を持つ人間を育てオリンピック・ムーブメントを力強く推進する。これを通じて、人類が共に栄え、文化を高め 世界平和の火を永遠に灯し続ける。これこそ JOC の理想であり、使命である。
- オリンピック憲章：<https://www.joc.or.jp/olympism/charter/pdf/olympiccharter2021.pdf>

\*2

- 日本代表選手団編成方針、国際総合競技大会派遣規程、国際総合競技大会における日本代表選手団公式服装着用規程、日本代表選手団の肖像及びメディア活動に関する規制事項等、JOC や組織委員会等が提示する規程、ガイドライン、マニュアル等に則った行動をとること。
- 結団式やメダルセレモニー等、公式行事では脱帽し、姿勢を正し、日の丸を直視し、「君が代」を斉唱すること。
- 他国・地域の旗が掲揚される時も、脱帽し、姿勢を正し、勝利者に敬意をはらうこと。
- メディア対応は、勝敗に関わらず、堂々と冷静かつ丁寧に応えること。支えてくれたファンや関係者への感謝を忘れないこと。また、自身の発言が及ぼす影響の大きさを認識し、SNS 等の扱いにも留意すること。
- FISU 指定のエリジビリティ(参加条件に関する同意書兼在学(卒業)証明書)を理解した上で、署名・サインをし、厳守すること。
- FISU 規程：<https://www.joc.or.jp/games/univ/pdf/fisu2017.pdf>
- スポーツにおける「インテグリティ」とは、「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」を指す。(様々な脅威：八百長・違法賭博、暴力・ハラスメント、ドーピング、ガバナンス欠如、反社会的行為、人種差別等)
- 世界アンチ・ドーピング規程および試合の不正操作防止に関するオリンピック・ムーブメント規程の遵守は、オリンピック・ムーブメント全体にとっての義務である。
- 薬を服用する場合は必ずドクターに相談してから服用すること。
- 競技会外検査(抜き打ち検査)は、いつでも実施される可能性があることを認識しておくこと。  
その際、選手の権利と義務を確認しておくこと。
- 居場所情報の提出を怠らないこと。
- IOC 倫理規程 2022: [https://www.joc.or.jp/olympism/ethics/pdf/ethics2022\\_j.pdf](https://www.joc.or.jp/olympism/ethics/pdf/ethics2022_j.pdf)
- オリンピックが目指す理想は、「オリンピックを通じて人類がともに栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯しつづけること」。このようなオリンピックの考え方や活動を世界の人々に知ってもらい、大きく広げていく運動を「オリンピック・ムーブメント」という。
- 日本代表選手団員となった者は大会終了後もこのオリンピック・ムーブメントを先頭に立って推進する責務がある。
- 日本代表としての社会貢献、次世代の選手を育成するため、JOC が実施する以下の公式行事等に参加・協力すること。
  - ① 当該大会の日本代表選手団結団式、解団式等
  - ② 当該大会終了後の JOC・日本代表選手団支援関係先への訪問活動
  - ③ オリンピック・ムーブメント事業(オリンピックコンサート、オリンピックデーラン、オリンピック教室等)
  - ④ JOC の広報活動・広告宣伝活動、ブランド構築活動、研修活動
  - ⑤ JOC 表彰式等のイベント活動
  - ⑥ JOC のパートナー・スポンサー等のプロモーション活動
  - ⑦ その他、JOC が必要と認める活動

付則:FISU 主催大会であるユニバーシティ競技大会は JOC が派遣する大会であることを受け、FISU、組織委員会規程等に加えて IOC/JOC が定める上記内容に準じて、日本代表選手団を編成・派遣する。